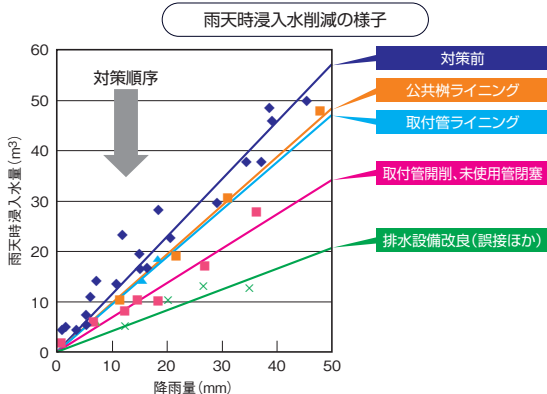


Pentough's Proposal 不明水問題の解決のために

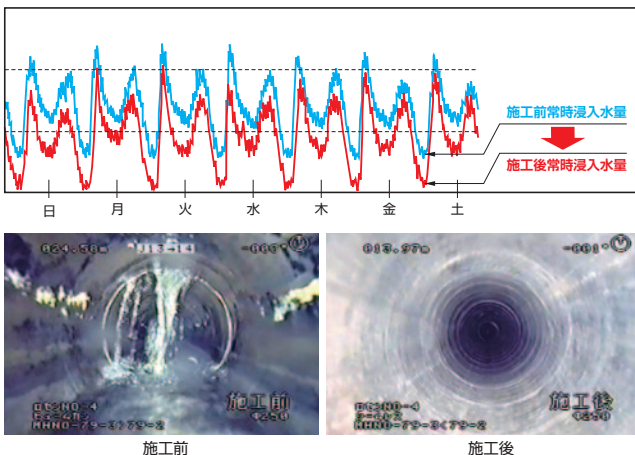
対策をやるかどうか迷っています

不明水を減らすことは、本当にできますか？

- できます。減らす仕組みは簡単なので、困難なことではありません
- 雨天時浸入水対策では部位ごとの削減比率(歩留まり)の確認、常時浸入水対策では、本管対策後に上昇する地下水位を想定することが必要です



常時(地下水)浸入水削減の様子



対策をしても無駄では？

- 効果的な対策をしないと無駄になります
- 雨天時浸入水を放置すると、人孔からの溢水、処理場・ポンプ場への流入過多や冠水が生じ、維持管理リスクや公共用水域汚染の原因になります
- 常時浸入水を放置すると、土砂を引き込み、地中に空隙が生じ、道路陥没の原因になります。更に放置すると、地山が弛んで管路の不陸や接合不良を生じ、管路寿命が短くなります

費用ばかり掛かるのでは？

- 対策が可能な規模を見据えない、アバウトな範囲の調査と、その結果による不十分な対策が、費用ばかり掛かって効果が見えてこない原因です
- 具体的な対策を想定しない調査、浸入水の種類を考えない対策は無駄になります
- ペンタフにおまかせ下さい。専用機材を使った経済的な対策を提案します

経済的なワンタッチ流量計による対策エリアの絞り込み

フリーム式	面速式
10秒 人孔内へフリーム挿入 ワンタッチフリームの設置(水平線の確認)	8秒 人孔内へ架台とセンサー挿入 ワンタッチマウントの挿入
29秒 水平を確認しセンサー取り付け ワンタッチフリームの設置(水平線の確認)	14秒 管内へセンサー取り付け ワンタッチマウントの挿入
1分8秒 計測を開始	51秒 計測を開始
1分24秒 計測中	1分19秒 計測中

溢水は改善できますか？

- 改善できます。溢水は緊急対応が必要な、リスク管理対象なので、施設増強による溢水解消が、浸入水削減対策よりも優先します

開発団地の下水道施設移管時に、不明水対策は必要ですか？

- 絶対に必要です。人孔溢水や施設冠水の履歴、浸入水量等を確認して、然るべき対策を移管時にしておかないと、後から大きなトラブルが発生します
- 詳細は無料提案をご活用下さい

不明水対策はしたけれど浸入水が減りません

雨天時浸入水が減りません

- ブロック別の流量調査結果により絞込み、TVカメラ調査で本・支管浸入箇所を特定し、更生したのに雨天時浸入水が減らないのは何故？
- 排水設備の誤接合を解消したのに、雨天時浸入水がほとんど減らないのは何故？
- 溢水対策として、誤接合と本管の浸入箇所を解消したのに、溢水があるのは何故？

常時(地下水)浸入水が減りません

- TVカメラ調査で、本管への浸入箇所を特定し止水したのに、常時浸入水が一時的に減少したものの、また増えたのは何故？
- 古い修繕箇所からの、常時浸入水の再発生が多いのは何故？

お答えします